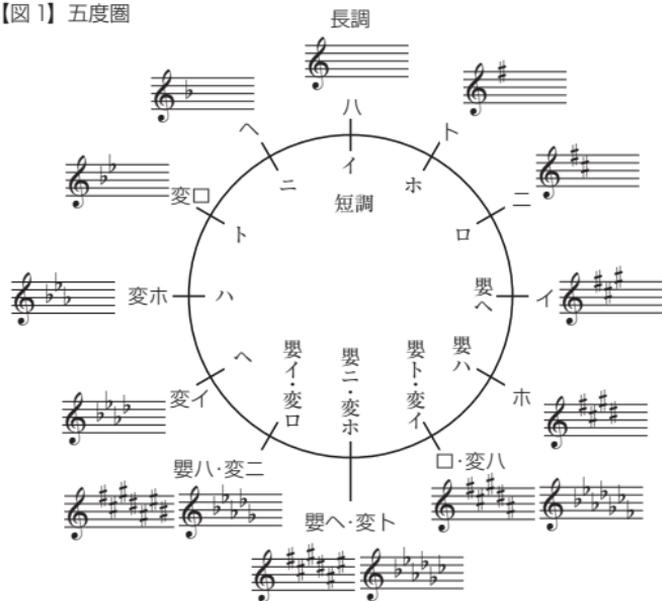


【図1】五度圏



短調では、 $\flat$ がひとつつきます。さらに5度下の音を主音とすると（変口長調とト短調）、 $\flat$ がふたつになるといった具合に、5度下の音を主音としていくごとに、 $\flat$ がひとつずつ増えていきます。

この5度上と5度下を主音にしていくのを示したのが、【図1】です。5度圏と呼ばれるこの図を見るとわかるように、 $\sharp$ 5つの口長調と嬰ト短調と $\flat$ 7つの変ハ長調と変イ長調、 $\sharp$ 6つの変ハ長調と変ホ短調と嬰二短調と $\flat$ 6つの変ト長調と変ハ短調と $\sharp$ 7つの変ハ長調と嬰イ短調と $\flat$ 6つの変二長調と変ロ短調は、途中で異名同音、つまりピアノの鍵盤の上では、名前は異なっても同じ鍵盤を主音とする調となります。こうした重複する調を除くと、長調と短調は合わせて24となります。

$\sharp$ や $\flat$ が増えていく際に、どの音に調